

福島オペレーション

出張者：大野、愛媛県立中央病院DMAT（濱見・森實・武田・渡辺）

- 08：35 災害医療センターDMAT事務局とMC無線通信テスト
- 08：50 Jヴィレッジへ向けて磐城共立病院出発（森實・武田・渡辺）
- 09：15 愛媛県庁県立病院課へ定時連絡
- 09：30 Jヴィレッジ到着（森實・武田・渡辺）
MC無線の通信テスト
- 10：00 Jヴィレッジでの合同会議に出席（森實・武田・渡辺）
会議内容： 別添資料参照
- 10：40 Jヴィレッジ診療所の資器材・物品・薬品について東電病院スタッフと共に、
整理
- 11：05 広島大学オフサイトセンター谷川先生到着
院長、救急小山先生と面会
- 12：35 Jヴィレッジ内の森實DrよりMC無線連絡
- 13：00 Jヴィレッジ診療所内の追加養生等を放医研のスタッフと共に行う
- 14：00 テレビ会議参加のための濱見Drパソコン設定。アドレス取得など行う。
- 15：00 オフサイトセンター、福島県立医大、放医研、Jヴィレッジ、広島大学医学
部、いわき共立待機DMAT（浜見） の合同テレビ会議にはじめて参加。
- 15：50 テレビ会議終了
- 15：55 MC無線でDMAT事務局へテレビ会議参加終了の報告をした。
- 17：00 Jヴィレッジ出発（森實・武田・渡辺）
- 18：30 磐城共立病院着（森實・武田・渡辺）
ミーティング
- 20：00 本日の磐城共立病院での業務を終了
—本日の共有情報及び懸案事項—
- ・ Jヴィレッジへの移動ルートは2ルート確保
 - 高速道路を通る経路
 - 国道6号線を通る経路
 - ・ 愛媛県立中央病院より持参した薬品（テルモ生食（10）・ドルミカム（10）・アドレナリン（10）・リドカイン（20））をJヴィレッジ診療所に提供
 - ・ Jヴィレッジ診療所内はスリッパでの活動のため、除染を要する患者の診療のためには室内履きのシューズがあったほうがベター
 - ・ 鼻腔スワブの用の綿棒（インフルエンザ検査用の太くて長い綿棒）が必要

福島オペレーション

出張者：大野、愛媛県立中央病院DMA T（濱見・森實・武田・渡辺）

- 08:20 磐城共立病院 打ち合わせ
大野、愛媛県立中央病院DMA T（濱見・森實・武田・渡辺）にて
森實・武田・渡辺は、J ヴィレッジで活動
濱見、大野は双葉消防訪問および有事の搬送依頼
- 08:45 災害医療センターDMA T事務局とMC無線通信テスト
- 09:10 J ヴィレッジへ向けて磐城共立病院出発（森實・武田・渡辺）
大野、濱見 磐城共立病院を双葉消防署に向けて出発
- 09:30 愛媛県庁県立病院課へ定時連絡
- 09:45 J ヴィレッジ到着（森實・武田・渡辺）
MCA無線の通信テスト
東電診療所スタッフより、20:00頃にMCA無線通信テストを定期的に行いたい旨の申し出があり、今後定期通信を行うこととする。
- 10:00 J ヴィレッジでの合同会議に出席（森實・武田・渡辺）
会議内容： 別添資料参照
- ・4月30日に合同訓練予定
 - ・この訓練時には、傷病者が出てからヘリポートまで搬送するまでの一連の流れを訓練
 - ・バックボード使用した患者搬送を行うことを予定
- 10:20 双葉消防 到着
双葉地方広域市町村圏組合消防本部総務課長 岡田 雄一
双葉地方広域市町村圏組合消防本部次長兼浪江消防庁 吉田 繁雄
上記2人と面談
- 磐城共立病院から双葉消防までの距離 約45km（399号）
時間 約70分
- 双葉消防からの情報
双葉消防からJ ヴィレッジまで 約60分
20km圏内を通過するため、救急隊はタイベック装着し活動
- 10:50 J ヴィレッジ内の自衛隊診療所の見学
- 13:00 J ヴィレッジ診療所内前に除染用のエアテントの設置を開始
- 13:10 濱見、大野はいわき市内へ到着。昼食。
- 13:30 診療所看護師さんより診療所に血糖値の高い作業員の方の受診があり、磐城共立病院の内科は午後も診療しているのかどうかを尋ねられるも把握しておらず、磐城共立病院待機中の濱見 Dr に連絡したが、糖尿内科の診療時間はわからないため小山先生へ問い合わせをしてみたらとのアドバイスをいただき、小山先生まで連絡
小山先生に連絡すると、受け入れていただけるということで、電話で診療所の有川 Dr と小山 Dr とで患者さんの申し送りをさせていただく
- 13:50 濱見、大野磐城共立病院へ帰還
- 14:30 磐城共立病院の大野さんと MCA 無線通信

先程の患者さんは磐城共立病院での受診可能ということで紹介状を持って受診していただくようになったことを報告

- 15:00 テレビ会議濱見Dr出席
いわき待機DMATからの報告
「双葉消防からJヴィレッジまでの所要時間は 約60分
(20km圏内を通過するため、タイベック装着)」
- 15:25 テレビ会議終了
- 16:12 Jヴィレッジチーム(森實・武田・渡辺)は、いわき共立病院での打ち合わせのためJヴィレッジを離脱。
- 16:15 Jヴィレッジ出発(森實・武田・渡辺)
- 17:00 磐城共立病院着(森實・武田・渡辺)
ミーティング
- 19:10 本日の磐城共立病院での業務を終了

—本日の共有情報—

- ・広島大学がされていた業務について、今後はDMATにあった活動の仕方でJヴィレッジ統括と相談しながら進めていっていただく旨、広島大学からの引き継ぎ書あり。
- ・Jヴィレッジ医療班の患者発生時連絡網の作成を行い、緊急医療班総括補佐の部分を放医研チームに受けていただき、総括医師からの連絡医療チームに磐城共立病院待機DMATを加える。

福島オペレーション

出張者：大野、愛媛県立中央病院DMAT（濱見・森實・武田・渡辺）

- 08:20 磐城共立病院着
打ち合わせ
愛媛県立中央病院DMAT（濱見・森實・武田・渡辺）はJヴィレッジで活動
大野さんはオフサイトセンターにMCA無線を設置予定
- 08:45 Jヴィレッジ診療所及び災害医療センターDMAT事務局とMC無線通信テスト
- 09:00 Jヴィレッジへ向けて磐城共立病院出発（濱見・森實・武田・渡辺）
- 09:45 Jヴィレッジ到着（濱見・森實・武田・渡辺）
- 10:00 Jヴィレッジでの合同会議に出席（濱見・森實・武田・渡辺）
会議内容： 別添資料参照
明日4月30日の訓練の打ち合わせ
- 10:45 Jヴィレッジ診療所屋外に除染テントが29日に設置されたため、その使用方法についての説明を受ける
- 11:15 愛媛県庁県立病院課へ定時連絡
- 11:55 オフサイトセンター到着（大野）
- 12:05 オフサイトセンター内にMCA無線を設置
Jヴィレッジ及び磐城共立病院のMCA無線と通信テスト良好
- 13:20 Jヴィレッジ診療所の東電医療スタッフにMCA無線の指導
- 13:45 Jヴィレッジ（濱見・森實・武田・渡辺）
- 14:35 磐城共立病院着（濱見・森實・武田・渡辺）
- 15:00 テレビ会議
- 15:30 テレビ会議終了
- 16:10 必要物品の買い出し
- 17:00 チームミーティング
- 18:30 DMAT事務局とMC無線通信
- 18:45 本日の磐城共立病院での業務を終了

—本日の共有情報—

- ・MCA無線； オフサイトセンター医療班 01
- 磐城共立病院 03
- 災害医療センターDMAT本部 04
- Jヴィレッジ診療所 05
- 福島県立医大 06
- ・MCA通信テスト； 毎日9時に実施

—愛媛県中DMAT隊員の健康状態—

全員健康状態良好です

福島オペレーション

出張者：大野、愛媛県立中央病院DMAT（濱見・森實・武田・渡辺）

- 08：15 磐城共立病院到着
打ち合わせ
愛媛県立中央病院DMAT（濱見・森實・武田・渡辺）はJヴィレッジで活動
- 08：45 Jヴィレッジ診療所及び災害医療センターDMAT事務局とMCA無線通信テスト
- 08：55 Jヴィレッジへ向けて磐城共立病院出発（濱見・渡辺・大野）
- 09：00 オフサイトセンター及び福島医大とMCA無線通信テスト
- 09：10 Jヴィレッジへ向けて磐城共立病院出発（森實・武田）
- 09：40 Jヴィレッジ到着（濱見・渡辺・大野）
- 09：42 愛媛県庁県立病院課へ定時連絡
- 10：00 Jヴィレッジ到着（森實・武田）
Jヴィレッジでの合同会議に出席（濱見・森實・武田・渡辺）
- 10：45 磐城共立病院へ向けてJヴィレッジを出発（濱見・森實・武田・渡辺）
- 12：00 Jヴィレッジ合同訓練開始
- 12：03 Jヴィレッジ総括の小山医師より訓練MCA無線連絡
50代男性 F1内での事故 現在搬送中 13：00頃Jヴィレッジ到着予定
- 12：13 磐城共立病院出発
- 12：45 JヴィレッジとMCA無線通信連絡
傷病者1名 汚染（+）
診療室内の養生と除染テントのボイラーのスイッチONを依頼
- 12：50 Jヴィレッジ到着（濱見・森實・武田・渡辺）
- 13：00 訓練患者Jヴィレッジ到着
傷病者の除染及び診療
- 14：20 訓練終了
- 14：30 Jヴィレッジ合同訓練反省会
- 15：00 テレビ会議
- 16：00 テレビ会議終了
- 16：10 Jヴィレッジ内の物品整理
- 17：10 Jヴィレッジ出発
- 18：00 磐城共立病院到着
磐城共立病院待機DMAT本部の整理
- 18：20 DMAT事務局とMCA無線通信
- 19：30 本日の磐城共立病院での業務を終了

—本日の共有情報—

- ・シーネ、ゴムバンド、長靴、日用品はJヴィレッジに提供
- ・プリンタ、USBコード、プリンタの机は磐城共立病院待機DMAT本部に提供
→磐城共立病院でのDMAT待機業務終了後、当院まで配送いただくこととする

福島オペレーション

出張者：大野、愛媛県立中央病院DMAT（濱見・森實・武田・渡辺）

- 08：30 ホテル出発
- 09：15 Jヴィレッジ到着（濱見・森實・武田・渡辺）
- 09：35 磐城共立病院待機 DMAT・DMAT本部・オフサイトセンターとMCA無線通信テスト
- 10：00 Jヴィレッジでの合同会議に出席（濱見・森實・武田・渡辺）
- 10：55 磐城共立病院へ向けてJヴィレッジを出発（濱見・森實・武田・渡辺）
- 12：00 磐城共立病院到着
佐賀DMAT隊磐城共立病院到着
昼食
- 12：30 愛媛県立中央病院DMAT及び佐賀DMAT隊と申しおくり
磐城共立病院にて（濱見・渡辺）
Jヴィレッジにて（森實・武田）
- 14：55 Jヴィレッジにおける申し送り終了し、帰還（森實・武田）
- 15：00 テレビ会議
- 15：40 テレビ会議終了
- 15：50 磐城共立病院到着（森實・武田）
- 15：52 磐城共立病院救命救急センターにお礼のご挨拶
- 16：00 DMAT事務局とMCA無線通信
- 16：10 磐城共立病院での業務を終了撤収

—本日の共有情報—

磐城共立病院内及びJヴィレッジにて愛媛県立中央病院DMATと佐賀DMATと申し送り実施

愛媛県立中央病院DMAT隊、無事、事故もなく、全員体調面も問題なく任務終了。
いろいろとお世話になりました皆様方に感謝いたします。ありがとうございました。

第2次隊 佐賀大学医学部附属病院

佐賀県立病院好生館

2011年5月1日

福島オペレーション

出張者：楠、佐賀県DMAT（山下・田本・小山・馬場）

- 12:00 磐城共立病院到着
愛媛県立中央病院DMATと合流
昼食
- 12:30 愛媛県立中央病院DMATより申し送り
磐城共立病院にて（山下・馬場）
Jヴィレッジにて（小山・田本）
- 14:55 Jヴィレッジにおける申し送り終了（小山・田本）
- 15:00 テレビ会議
- 15:40 テレビ会議終了
- 15:50 磐城共立病院到着（小山・田本）
- 15:52 磐城共立病院救命救急センターにご挨拶
- 16:00 DMAT事務局とMCA無線通信
- 16:10 愛媛県理知中央病院DMAT撤収
- 16:40 DMAT事務局とMCA無線通信
- 16:50 防護装備装着確認
- 17:50 本日の磐城共立病院での業務を終了

—本日の共有情報—

磐城共立病院内及びJヴィレッジにて愛媛県立中央病院DMATと佐賀DMATと申し送り実施

福島オペレーション

出張者：楠、佐賀県DMAT（山下・田本・小山・馬場）

- 08：15 磐城共立病院着
打ち合わせ
- 08：30 磐城共立病院長へDMAT交代の挨拶
- 08：45 Jヴィレッジへ向けて磐城共立病院出発（小山・田本・馬場）
- 09：30 Jヴィレッジへ向けて磐城共立病院出発（山下・楠・大野）
- 09：40 Jヴィレッジ到着（小山・田本・馬場）
- 10：00 Jヴィレッジでの合同会議に出席（小山・田本・馬場）
会議内容： 別添資料参照
- 10：30 Jヴィレッジ到着（山下・楠・大野）
Jヴィレッジ内の確認（山下・楠・大野・馬場）
- 11：30 磐城共立病院へ向けてJヴィレッジ出発（山下・楠・大野）
- 12：30 磐城合同庁舎着、災害派遣等支援車両申請（山下・楠・大野）
- 13：40 Jヴィレッジ内トランシーバーテスト
磐城共立病院到着（山下・楠・大野）
- 14：00 大野さん出発
Jヴィレッジにて浅利先生と除染コンテナ関連のミーティング
（小山・田本・馬場）
- 15：00 WEB会議（山下）
- 15：30 Jヴィレッジ医療班とMCA無線訓練
- 16：10 磐城共立病院へ向けてJヴィレッジ出発（小山・田本・馬場）
- 17：15 磐城共立病院到着（小山・田本・馬場）
- 17：30 大野さん立川到着
- 18：00 Jヴィレッジ医療班とMCA無線通信確認
- 19：00 本日の磐城共立病院での業務を終了

—本日の検討項目—

- ・ Jヴィレッジに多数傷病者（10名）搬入された際のベッド10台の配置について
（どこで診療するか？ジム？雨天練習場？メディカルセンター？
メディカルセンター内しか使えないのであればどのように配置するか？
動線は？）
- ・ 多数傷病者搬入時の訓練（机上で5/3に予定 吉野先生シナリオ作成）
- ・ 待機DMATが使用する車両について
9時の無線チェック、10時Jヴィレッジ会議、15時Web会議にそれぞれ参加する
ためには2台必要かも？
- ・ 資機材は移動車両の積載能力があるのであればJヴィレッジに保管せず、チームとともに移動するほうがよい
- ・ 震度4以上の余震のため高速が止まった際に、海沿いを通らないルートを明日以降に
検索

福島オペレーション

出張者：楠、佐賀県DMAT（山下・田本・小山・馬場）

07：40 磐城共立病院着
07：45 Jヴィレッジ・川内村（一時帰宅）へ向けて磐城共立病院出発

～小山・田本・馬場～

08：25 Jヴィレッジ到着（小山・田本・馬場）
10：00 Jヴィレッジでの定例会議に出席（小山・田本・馬場）
10：45 Jヴィレッジ内ランシーバーテスト
11：40 広野火力発電所で外傷患者発生の一報
（東電本部より東電医療班を通じて吉野Dr.へ）
11：58 吉野Dr.よりOFCへDMATの出動について要請
OFC森村Dr.より厚労省浅沼Dr.へ確認の後、
JヴィレッジよりDMAT出動の容認
12：00 東電の車にて広野火力発電所へ出発（小山・田本・馬場）
12：08 現着 治療開始
12：38 双葉消防救急隊現着
12：51 救急車に同乗して磐城共立病院へ現発（小山・田本）
13：00 Jヴィレッジ帰還（馬場）
13：30 磐城共立病院病着・患者引継ぎ（小山・田本）

～山下・楠～

8：40 Jヴィレッジ発
10：00 川内村到着
10：55 一時帰宅開始
（ストレッチャー、AED貸出、重症者発生時の連絡網確認）
13：00 汚染訓練開始
14：25 訓練終了
14：55 一時帰宅より帰還
サーベイランス、トリアージ開始
15：50 全員帰還、汚染者なし
16：10 川内村出発
18：00 Jヴィレッジ到着 吉野Dr.とブリーフィング

馬場調整員を乗せて

18：30 Jヴィレッジ出発
19：10 磐城共立病院到着

一本日の検討項目一

たくさんあるので明日書きます

福島オペレーション

出張者：楠、佐賀県DMAT（山下・田本・小山・馬場）

- 08:00 ホテル発
- 08:13 磐城共立病院着
- 08:50 Jヴィレッジへ向けて磐城共立病院出発
MCA無線のバッテリーが40分で切れる
- 09:45 Jヴィレッジ到着
- 10:00 Jヴィレッジでの定例会議に出席
吉野Dr. 本日まで 本日より寺沢Dr. へ交代
- 10:30 Jヴィレッジ内医療資機材の確認
- 11:35 Jヴィレッジ出発
高速道路・6号線が使えない場合の磐城共立病院←→Jヴィレッジの経路を
同定
- 13:50 磐城共立病院到着
資機材リスト、第3隊への申し送り作成
- 16:00 国立いわき病院視察（楠・馬場）
- 18:15 JヴィレッジとMCA無線テスト
無線通じず、電話にて確認。
Jヴィレッジ側の電源が落ちており、電源を入れ直して再度テスト。
数時間たつと電源が落ちている模様。

—昨日の検討項目—

Command & Control

- ・待機DMATの役割再確認
3日の業務には外傷患者の現場派遣（ドクターカー的役割）、一時立ち入りの医療（救護所的役割）もあったが、今後このような業務が発生する可能性は？
多数傷病者発生時の想定で、DMATはJヴィレッジ医療班とみなされているような、いないような
→ 臨機応変に対応できるよう携行資機材の調整、見直しが必要
- ・Jヴィレッジ総括責任者としては立ち入り人数を極力制限するのが大前提であるので、10時の定例会議へDMATがどうしても参加するのであれば、派遣中に1回、1～2名にしたいとの要望あり

—本日の検討項目—

Command & Control

- ・本日のWeb会議にて、OFCより昨日のような現場派遣については今後想定していないとのこと

Safety

- ・高速が使えないとき、6号線は危険（津波の恐れあり）県道35号線を通るルートで行き来するのが望ましい

Communication

- ・MCA無線
バッテリーの劣化 当面は車にもAC電源搭載し対処。

(事務局へ報告済、次チームへAC電源持参を依頼 バッテリーも交換予定?)
一時立ち入りの際、中継地点でMCA無線を使いたいとの要望がOFC本部より医療班に入ったとのこと。今後MCA無線の配置が変更になる可能性有り。

Assessment, Treatment?

- ・携行資機材の見直しについて、事務局市原さんと電話連絡
明日の福島医大研修で近藤先生に相談、次派遣チームとも調整の必要あり

福島オペレーション

出張者：楠、大野、佐賀県DMAT（山下・田本・小山・馬場）

08：00 ホテル発
08：13 磐城共立病院着
09：30 OFCよりMCA無線テスト
11：35 大野さん磐城共立病院到着
18：00 JヴィレッジとMCA無線テスト
18：15 本日の磐城共立病院での業務を終了

～小山・田本～

08：45 Jヴィレッジへ向けて磐城共立病院出発
09：30 Jヴィレッジ到着
総括寺澤医師に挨拶
10：00 Jヴィレッジでの定例会議に出席
10：50 自衛隊救護所見学
11：00 明日の訓練について総括医師と打ち合わせ
11：20 福島第一原発で傷病者発生との連絡を受け、総括寺澤医師よりJヴィレッジ内に待機してほしいとの要請あり。
12：25 Jヴィレッジへ傷病者到着
Jヴィレッジ医療班と協力し対応
13：32 Jヴィレッジより傷病者搬送される
13：40 Jヴィレッジ医療班と今回の傷病者対応についての反省会
14：30 磐城共立病院へ向けてJヴィレッジ出発
15：10 磐城共立病院着

～山下・楠・大野～

11：50 福島県立医大へ向けて磐城共立病院出発
13：10 福島県立医大到着
14：00 DMAT研修
17：20 DMAT研修終了 楠さんはそのまま帰宅
17：50 福島県庁
20：20 ホテル到着

—本日の検討項目—

- ・ Jヴィレッジ傷病者受入ブリーフィング
当初の待機態勢は診療所の内外で医療者をあらかじめ分けた方がよい
その他は当初予定していた手順通りスムーズに搬送できた
- ・ 5/6に汚染のある傷病者の受入れ訓練を行う予定
(Jヴィレッジからの通報後に出動)

福島オペレーション

出張者：大野、佐賀県DMAT（山下・田本・小山・馬場）

08：00 ホテル発
 08：13 磐城共立病院到着
 08：15 DMAT事務局とMCA無線テスト
 ～Jヴィレッジ合同訓練開始～
 12：03 Jヴィレッジ総括寺澤医師より訓練第一報
 12：08 Jヴィレッジへ向けて磐城共立病院出発（山下・田本・馬場）
 12：40 Jヴィレッジ到着（山下・田本・馬場）
 13：00 模擬傷病者Jヴィレッジへ到着
 模擬傷病者の除染および診療
 13：40 模擬傷病者をヘリポートへ搬送
 ～Jヴィレッジ合同訓練終了～
 14：00 Jヴィレッジ合同訓練ブリーフィング（山下・田本・馬場）
 14：45 磐城共立病院へ向けてJヴィレッジ出発（山下・田本・馬場）
 15：00 定例Web会議（小山）
 16：25 磐城共立病院到着（山下・田本・馬場）
 ： 本日の磐城共立病院での業務を終了

—本日の検討項目—

- ・寺澤Dr. と相談
 - ・今後、Jヴィレッジの輸液や薬剤、医療資器材の補充は東電よりなされる
 - ・配置される予定のバックボードやターポリン担架、ノルホスストレッチャーは除染や搬送に活用できそう
 - ・DMATは自前で帯同している少人数対応資機材もあることをお知らせした
- ・Jヴィレッジ合同訓練ブリーフィング
 - ・汚染があっても、重症者の場合は1Fでサーベイランスやタイベック除去がなされずにタイベックのまま布担架で搬送されてくる可能性あり。時間的猶予のない重症者の場合は搬送用シートにそのままくるんで処置室へ搬入し、サーベイランスと同時進行で治療が行われる可能性を考えるべき
 - ・時間的猶予がある汚染者の場合、患者を布担架からバックボードやストレッチャーに移し替える手段を考える（昨日の外傷患者は痛みが強く、とても担架から動かすことができなかった）
 - ・医療情報、放射線情報、搬送情報に分けて情報の把握が必要
（特にタイベックの破損の有無やマスクの有無など、内部汚染の可能性については重要）
 - ・ヘリポートまでの道順が、夜、道に慣れていない人だと分かりにくいかも。
→訓練の際ヘリポートまで行き、道に慣れておくようにしたほうがよい。
 - ・処置室ではホットゾーンに看護師に2名入ってもらう必要あり。処置室の配置に慣れた看護師に資機材受渡しをお願いしたいので、役割分担案としては以下

ホットゾーン

東電医師 汚染部位の確認と局所観察

DMA T医師 J A T E C手技を用いた全身観察、F A S T

東電看護師、自衛隊看護師 ①バイタル測定、輸液など

②外傷処置、除染手伝いなど

コールドゾーン

東電看護師 必要資器材受渡し

DMA T看護師、自衛隊看護師、自衛隊医師

処置経過記録、除染状況記録、搬送準備など

2011年5月7日

福島オペレーション

出張者：大野、佐賀県DMAT（山下・田本・小山・馬場）

- 08：00 ホテル発
- 08：15 磐城共立病院到着
- 10：30 災害医療センターDMATチーム磐城共立病院到着
災害医療センターDMATチームと申し送り
- 12：30 磐城共立病院救命救急センター小山先生にご挨拶
- 12：45 本日の磐城共立病院での業務を終了

無事、事故もなく、全員の体調も問題なく任務終了しました。
ありがとうございました。

第3次隊 国立病院機構災害医療センター

2011年5月7日

福島オペレーション

出張者：大野、吉川、災害医療DMAT（小笠原・熊倉・斉藤・武田・松村）

- 10:22 磐城共立病院到着
佐賀DMAT、大野氏と合流
- 10:35 佐賀DMATより申し送り
- 11:45 申し送り終了
昼食
- 12:30 磐城共立病院 救命センター長小山 Dr.へ交代挨拶
山下 Dr. (佐賀 DMAT)
小笠原 熊倉 斉藤 武田 松村
- 13:00 佐賀 DMAT 撤収
- 13:05 資機材 積み下ろし
熊倉 武田 松村
災害派遣車両登録（福島県いわき合同庁舎）
小笠原 斉藤 吉川
- 13:40 資機材 整備
- 15:00 WEB 会議
小笠原
OFC 山口 Dr. (杏林大学) 浅沼氏 (厚労省)
救急医学 坂本 Dr. (帝京大学)
福島県立医大病院
谷川 Dr. (広島大学) 放医研
- 15:30 会議終了
- 16:00 J ヴィレッジへ向け磐城共立病院出発
小笠原 大野 吉川
- 17:00 磐城共立病院業務終了
- 18:40 小笠原 大野 吉川 帰着 (宿泊先)
- 18:45 J ヴィレッジとの MCA 無線通信確認
J ヴィレッジの電源が落ちており通信不可
J ヴィレッジへ電話連絡 J ヴィレッジより無線通信確認

—本日の共有情報—

- ・磐城共立病院内にて佐賀 DMAT と申し送り実施
- ・J ヴィレッジへ交代挨拶（小笠原）

福島オペレーション

出張者：大野、吉川、災害医療DMAT（小笠原・熊倉・斉藤・武田・松村）

- 08：10 磐城共立病院到着
08：35 DMAT本部とのMCA無線通信確認
DMAT本部：菊池班長 感度良好
08：40 JヴィレッジとのMCA無線通信確認
本日も電源が落ちていたとのこと（7：30電源ON）
- （Jヴィレッジミーティング）小笠原 斉藤 大野
08：50 磐城共立病院出発
常磐道（いわき中央 - 広野）
09：35 大野Jヴィレッジ到着
10：00 ミーティング
10：15 ミーティング終了
11：05 Jヴィレッジ出発
常磐道（広野 - いわき中央）
11：45 磐城共立病院到着
- （OFC 福島県立医大挨拶）小笠原 大野
12：00 磐城共立病院出発
磐越道 東北道
14：05 OFC到着（MCA無線により連絡）
OFC挨拶
14：15 OFCとMCA無線通信確認
OFC：大野 いわき：吉川
14：30 小井土Dr.からのメール確認
小笠原（OFC）へメール内容伝達（吉川より専用携帯へ）
いわき待機DMATの件について話し合い
山口Dr.（杏林大学） 甲斐Dr.（済生会千葉）
小井土Dr.へ連絡
吉川撤収確認
15：00 福島災害対策本部（福島自治会館）へ
15：30 OFCとMCA無線通信確認
OFC：大野 いわき：武田
福島県立医大へ
16：10 福島県立医大出発
東北道 磐越道
17：40 磐城共立病院到着
- 15：00 小笠原不在のためWEB会議不参加
15：15 吉川撤収

18:00 J ヴィレッジとの MCA 無線通信確認
J ヴィレッジ MCA 電源 OK 感度良好
18:30 磐城共立病院業務終了

—本日の共有情報—

(J V ミーティング)

本日夕方から第一原発 1 号機入り口開放予定 (線量確認しながら 8 時間かけて)
⇒ 20:00 開始 (TV より)

いわき待機 DMAT の活動について

5月9日の WEB 会議にて発言する

福島オペレーション

出張者：大野、災害医療DMAT（小笠原・熊倉・斉藤・武田・松村）

- 08：20 磐城共立病院到着
- 08：30 DMAT本部からMCA無線通信確認
DMAT本部：市原 いわき：大野
昨夜充電切れにて通信不可
通信の確認 感度良好
- 08：35 磐城共立病院樋渡先生に挨拶
隊員全員
看護部長不在
- 08：50 JヴィレッジとのMCA無線通信確認
感度良好
- （Jヴィレッジミーティング）小笠原 武田 大野
- 09：00 磐城共立病院出発
磐越道（いわき中央 - 広野）
- 09：43 Jヴィレッジ到着
- 10：00 ミーティング
- 10：30 ミーティング終了
武田：松藤氏 佐島氏（放医研）と意見交換
- 10：55 Jヴィレッジ出発
国道6号線
- 11：53 磐城共立病院到着
- （国道6号線調査）熊倉 武田
- 14：00 磐城共立病院出発
国道6号線 タイベック着替え場所の調査（JVまで往復）
- 17：00 磐城共立病院到着
着替え場所地図作成
- 15：00 WEB会議：小笠原
- 18：30 JヴィレッジとのMCA無線通信確認
感度良好
- 18：30 DMAT本部とのMCA無線通信確認
いわき：武田 DMAT本部：藤井 感度良好
- 19：00 磐城共立病院業務終了

—本日の共有情報—

(J Vミーティング)

- ・ 5月8日20:00より第一原発原子炉建屋とタービン建屋間の二重扉開放開始
5月9日4:00完全開放 作業員建屋内に入る
環境中放射能濃度ほとんど変化なし(放医研)
- ・ 5月10日搬送訓練実施
11:00発災 通報・受入れ・対応・搬送(ヘリポートまで)訓練予定
- ・ 傷病者発生時の連絡体制について

今後のDMAT活動について

WEB会議にて発言

詳細別紙